

こころん だより

Vol. **2**

2017 Autumn



こころん

特集1

**すべての人の人権が尊重される
社会を目指して**

文：高知県文化生活スポーツ部人権課

特集2

人権啓発マスコットキャラクター **こころん**



すべての人の 人権が尊重される 社会を目指して

文：高知県文化生活スポーツ部人権課

社会の変化を見据えた人権への取組

すべての人の人権が尊重される社会をつくることはみんなの願いです。しかし、現実には、子どもや高齢者、障害のある人への虐待、いじめ、ネット上での誹謗中傷や差別的な書き込み、東日本大震災時に人権への配慮が十分でなかった事例などの人権侵害事案が未だに数多く発生しています。

こうした状況から、高知県では、平成12年3月に策定した「高知県人権施策基本方針」を改定し、平成26年3月に「高知県人権施策基本方針第一次改定版」を策定しました。

この第一次改定版では、「全ての人の人権が尊重され、安心して生活できる社会づくり」を基本理念として、次の3つの方向性に留意しながら人権教育・啓発事業を総合的に展開することとしています。

1. あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進
2. 特定職業従事者(※)に対する人権教育・啓発の推進
3. 相談・支援体制の充実

また、「同和問題」「女性」「子ども」「高齢者」「障害者」「HIV感染者等」「外国人」「犯罪被害者等」「インターネットによる人権侵害」「災害と人権」の10の人権に関する課題を県民に身近な人権課題として、人権課題ごとに5か年計画(平成26～30年度)を策定し、5年後の目指す姿や数値目標などを「達成目標」として掲げています。

基本方針は5年ごとに見直しすることとしており、今年度県が5年ぶりに実施する「人権に関する県民意識調査」の結果や有識者で構成する「高知県人権尊重の社会づくり協議会」の意見などを踏まえて、次期(平成31～35年度)の5か年計画を策定します。

県民に身近な10の人権については、その現状と課題、人権侵害の事例、人権尊重への主な取組などの人権に関する実態を毎年公表しています。



「人権に関する実態」について、高知県人権課のホームページで公開しています。
QRコード：
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/141101/>

ともに考えよう 身近な人権課題

最近の人権に関する法律は、平成25年に「いじめ防止対策推進法」が、平成28年4月に「障害者差別解消法」が、6月に「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」(ヘイトスピーチ解消法)が、12月には「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。

人権を取り巻く環境は大きく変化してきていますが、高知県もこの基本方針に基づき、さらに人権尊重の取組を進めていきます。

県民の皆さま方も、身近にある人権課題を今一度、自らの問題ととらえ、地域や職場、家庭において人権が尊重される社会づくりに向けて、ご協力をお願いします。

(※)「特定職業従事者」：人権に関わりが深く、より高い人権意識を持って職務に従事することを求められる公務員、教育職員、警察職員、消防職員、福祉関係職員、医療関係職員



もっと詳しく知りたい方へ

高知県人権課発行の「高知県人権施策基本方針-第1次改定版-」に詳しい内容が掲載されています。高知県人権課で配布していますのでご入用の場合はお問い合わせください。

高知県人権課
TEL:088-823-9804
E-Mail:141101@ken-pref.kochi.lg.jp

人権に関する
法律がいろいろと
あるんだね!



コラム 人権に関する法律の施行について

その1.

「部落差別解消推進法」

部落差別の解消の推進に関する法律
(平成28年12月16日施行)

基本的な人権尊重の理念にのっとり、重要な課題である部落差別の解消に関して、国民の理解を深め、部落差別のない社会を実現するための相談体制の充実や教育・啓発などの施策を行うこととしています。

その2.

「ヘイトスピーチ解消法」

本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律
(平成28年6月3日施行)

本邦外の国や地域の出身であることを理由とした不当な差別的言動は許されないことを宣言するとともに、人権教育や啓発などを通じて国民への周知を図り、不当な差別的言動の解消に向けた取組を推進することとしています。



■ 法務省の啓発ポスター
法務省のサイトからリーフレットや啓発冊子をダウンロードする事ができます。

その3.

「障害者差別解消法」

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律
(平成28年4月1日施行)

国や地方公共団体に対して、正当な理由なく障害を理由として差別することを禁止し、また、障害者からの求めに応じて、負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な合理的配慮を行うことを義務付けています。また、民間事業者には、こうした配慮を行うことに努めるよう求めています。

合理的配慮で
可能性が広がるね!



「障害者差別解消法」は高知県障害保健福祉課まで!



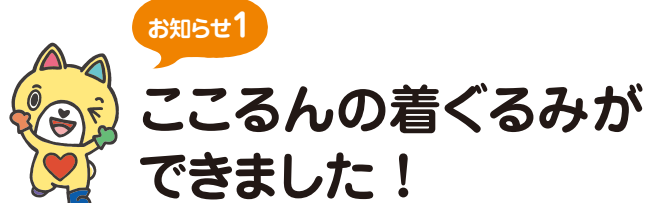
たくさん
利用してね!!

「ココロん」について

高知県人権啓発センターは、同和問題をはじめとするあらゆる人権に関する問題について、県民の皆さまの理解と認識を深めてその解決を図るために高知県から委託を受けて、様々な人権のイベントや研修会を行っています。

人権啓発マスコットキャラクター「ココロん」は、人権を大切なものとして身近に感じてもらえることを願い、昨年誕生しました。

市町村や団体、企業等が行う人権啓発に関する事業に「ココロん」を活用していただき、人権意識の普及啓発にお役立てください。



高知県内の学校や団体、行政、地域等が行う人権啓発に関する事業やイベントに、ココロんの着ぐるみをぜひ活用してください。9月から貸出しを始めます。貸出し料は無料です。

例えばこんな催しに、ココロんが登場！

- 保育園・幼稚園・小・中・高等学校での人権教育
- 市町村や地域主催の人権啓発イベント
- 企業や団体主催の人権研修事業など



ココロん着ぐるみ



側面

後姿

着ぐるみの仕様

- 頭部には換気ファンが付いています。
- 足は、中にサンダルが付いており歩きやすくなっています。
- 145センチ～175センチの方に対応しています。



子どもたちの心に人権意識が芽生えることを目指し、ココロんの「オリジナル紙芝居」と「パペット」のセットの貸出しを10月から始めます。

紙芝居のテーマは「多様性」。ココロんと子どもたちが、楽しく掛け合いをしながら進めていける参加型の紙芝居です。また先生用に、読後の振り返りのヒントが詰まった「手引書」も準備しています。人権について楽しく学び、考える機会として、ぜひ活用してください。

オリジナル紙芝居 「ココロんといっしょにまちたんけん」

- 体裁：B4サイズ15枚（読後の振り返り手引書付き）
- 対象年齢：就学前（年中・年長組）から小学校低学年



人権に関する教育や生涯学習、研修の現場で、ココロんのイラストをぜひご活用ください。

例えばこんなツールに、ココロんが登場！

- 保育園・幼稚園のお手紙
- 小・中・高等学校の授業で配るプリント
- 市町村による人権啓発事業のチラシ
- 企業や団体の人権研修用パワーポイントなど

※不特定多数の方に配布する印刷物やグッズなどを作成する場合には『使用許諾申請』が必要です。

ココロんに関するお問い合わせについて

着ぐるみ・紙芝居とパペットの貸出し、イラストの使用についての詳細は当センターのホームページをご覧ください。ご不明な点があれば、下記までお問い合わせください。



TEL：088-821-4681 / E-Mail：center@kochi-jinken.or.jp

ココロんパペット



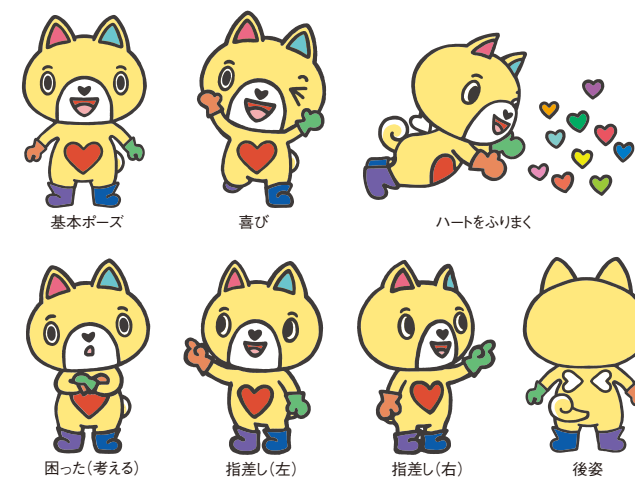
正面

後姿

ココロん紙芝居 ※写真は作成中のサンプルです



ココロんイラスト（全7種類）



基本ポーズ

喜び

ハートをふりまく

困った（考える）

指差し（左）

指差し（右）

後姿

高知県人権啓発センター

検索

<http://www.kochi-jinken.or.jp/>

スポーツ組織連携事業

人権野球教室を開催しました

日時:2017年7月2日(日) / 参加者:104名
場所:高知市営球場 / 協力:高知地方法務局人権擁護課

高知市営球場にて、小学生を対象とした人権野球教室を開催しました。当日は、じんけん〇×クイズで楽しみながら人権のことを学んだり、高知ファイティングドッグスの選手の指導のもと、合計104名の子どもたちに、スポーツを通して交流し協力することや仲間を思いやることの大切さを、体を動かしながら実感してもらうことができました。また、野球教室の最後には、駒田監督から、「フェアプレーの大切さ」や、「普段からいやなことでもちょっとだけ頑張ってみること」などのお話もいただきました。

「じんけん〇×クイズ」は、アンケートの回答で、「学んだことがとてもあった」が60%、「学んだことがあった」が31%と、合わせて91%になり、楽しみながら人権について考えてもらうきっかけになったと思います。ほかにも、「また野球教室があったら、参加したいと思いますか?」の問いに、「参加したい」が98%となるなど、大変評価の高い野球教室となりました。



子どもたちの感想

- いじめを少なくしたいです。
- いじめのひどさがわかった。
- コーチがとってもやさしくてやりやすかった。

啓発事業

強調旬間啓発事業へ
ご来場ありがとうございました

日時:2017年7月16日(日) / 参加者:180名
場所:高知市文化プラザかるぽーと

毎年7月10日から20日は「部落差別をなくする運動」強調旬間です。
今年度は、和太鼓ユニット「絆」の代表谷本直也さんの「出会い・つながり・絆」と題しての講演のあと、和太鼓の演奏会を開催しました。

谷本さんは、和太鼓ユニット「絆」として活動をはじめたきっかけや、日本の伝統文化、伝統芸能である和太鼓が牛の革で作られていること、その革を扱う人が部落の人間であったことなどから差別されてきた歴史や、今なお部落差別が続いている状況などの話、和太鼓の演奏も、お互いを信じあうこと、お互いを認め合うことで一つの音を作りだし、よりすばらしい演奏ができるようになることなどを熱く語られました。

そのあと、和太鼓ユニット「絆」のパワフルな演奏と、観客も参加した太鼓教室も行われました。

事業終了後のアンケートでは、回答のあった方全員から「とても良かった」「良かった」という評価をいただきました。

アンケートより

- ユニット「絆」に感動しました。まさに出会い、つながり、絆でした。
- 和太鼓の演奏を聴きながら太鼓作りの人も差別されていたことなどを考えながら聴かせていただきました。力強い演奏に差別がふきとぶ人間の生命力を感じました。
- 圧巻でした!!和太鼓製作の背後に部落差別の問題があることを知りました。そのことを忘れないようにしなければと思います。ありがとうございました。
- みなさんの一生懸命さに共感しました。心に響く取り組みを私たちも学びたいと思います。



数多くの感想や意見いただきました。今後の啓発事業に活かして行きたいと思います



9月10日(日)

スポーツ事業

スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業

冠協賛試合「子どもの人権啓発ゲーム」
高知ファイティングドッグスvs香川オリーブガイナース

入場料 高校生以上 当日1,000円(前売800円)
小中学生 当日500円(前売400円) ※高知県内の小学生は無料

いじめ等の身近な人権課題について、理解と認識を深めてもらうために、人権啓発活動の一環として冠協賛試合を開催します。また、試合終了後のアンケートにご協力いただいた方、先着100名に木製ペン立てをプレゼントします。

会場
開始

高知市営球場 18:00~(開場17:00)
(高知市大原町158)

こころんの
着ぐるみも
登場するよ!



10月22日(日)

上映会

平成29年度 人権啓発研修ハートフルセミナー

映画「彼らが本気で編むときは、」上映会

参加費無料 定員 各回270名(予約優先)

監督:荻上直子(「かもめ食堂」) 出演:生田斗真/桐谷健太/柿原りんか/ミムラ/小池栄子 他
トランスジェンダーのリンコと育児放棄された少女トモ、リンコの恋人でトモの叔父のマキオが織り成す奇妙な共同生活を描いた人間ドラマ。

会場
開演

高知県立人権啓発センター6階ホール
①10:00~12:20 ②14:00~16:20 ※開場は30分前

10月28日(土)

講演会

平成29年度人権啓発研修 ヒューマンパワー育成講座

講演会「組織力と人権」

参加費無料 定員 先着150名(予約優先)

講師:駒田 徳広氏(高知ファイティングドッグス監督)
人を育て、活力ある強い組織をつくるためには、どうしたらよいのか?ビジネスに应用できる話も満載です!

会場
開演

高知県立人権啓発センター6階ホール
14:00~15:30 ※受付13:30~

11月19日(日)

上映会 講演会

平成29年度 人権啓発研修ハートフルセミナー

映画「隣る人」上映会と稲塚由美子氏 講演会

参加費無料 定員 先着150名(予約優先)

講師:稲塚 由美子氏(映画企画者)
親と暮らせない子どもたちと、隣り合う保育士たち。そして、子どもとふたたび暮らすことを願う親。ある児童養護施設の日常を追う8年間のドキュメンタリー。

会場
開演

高知県立人権啓発センター6階ホール
上映会 13:30~15:00 講演会 15:10~16:00 ※開場は30分前

センターからのお知らせについてのお問い合わせ先 **公益財団法人 高知県人権啓発センター ☎088-821-4681**

高知県立人権啓発センター利用案内

じんけんライブラリーをご存知ですか？

5F じんけんライブラリー

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。
ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用方法

- ご利用の際は、「じんけんライブラリー」利用カードが必要です。
カード発行は無料、その場でお作りします。
- 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者のご負担となります)

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



団体図書貸出について

小・中学校、高等学校ほか、地域で読書普及活動を行う団体やグループに、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。

高知県立人権啓発センター(丸ノ内ビル4F～6F)

ホール、視聴覚室もご利用ください

6F ホール (収容人員 270人 机併用の場合は180人)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

基本使用料(平日)			時間外使用料
午前	午後	全日	平日時間外、土・日・祝祭日
9:00～12:00	13:00～17:00	9:00～17:00	1時間
8,490円	11,360円	17,880円	4,250円

冷暖房使用料…1時間 / 610円(1時間未満の時は、1時間として計算します)

- この表に定める時間区分には、実際に利用する時間のほか、その準備・片付けに要する時間を含みます。
- 時間外使用料は、利用時間が1時間未満でも1時間として計算します。

4F 視聴覚室 (利用無料 / 収容人員 48人)

視聴覚機器を利用する研修等にご利用ください。

※人権に関する研修等にのみ使用できます。



5F じんけんライブラリー



6F ホール



4F 視聴覚室

詳しくは
ホームページを
ご覧ください!



編集後記

季刊誌「こころんだより」の発刊について

文：(公財)高知県人権啓発センター 事務局長 中山耕平

人権は私たちにとって大切なものですが、人権と聞くと、少し堅くて難しいというイメージを持つ方もいるようです。

人権啓発センターでは、人権が身近なものであるということを知ってもらうために、様々な事業をしています。

今回、事業報告をしています人権野球教室(7月2日開催、於：高知球場)もそうした取り組みの一つです。この教室は、参加した子どもたちが、練習を通じて、協力することや仲間の大切さを実感して、人権に

ついて考えるきっかけになることを目的に開催しています。

また「部落差別をなくする運動」強調週間啓発事業(7月16日開催、於：かるぽーと)では、大阪の和太鼓ユニット「絆」の演奏と代表の谷本直也さんの講演を行い、和太鼓教室も開催しました。聞くだけでなく、太鼓演奏を体験することで、講演の内容もより深く心に残ったのではないのでしょうか。

『こころんだより』では、こうした取り組みについても紹介していきますので、ご愛読くださるようお願いいたします。



公益財団法人

高知県人権啓発センター <http://www.kochi-jinken.or.jp/>

〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL: 088-821-4681 / FAX: 088-821-4440 / E-Mail: center@kochi-jinken.or.jp

こころんだより Vol.2 2017年9月発行(年4回発行)

制作・印刷：有限会社ファクトリー 発行：公益財団法人 高知県人権啓発センター

MAP

